

身体トラブルを防ぐために



- 次の医用電気機器を使用している人や、医用電気機器や家庭用電気治療器の近くでは、絶対に使用しない。（医用電気機器や家庭用電気治療器の誤動作をまねき、身体に著しい障害をもたらすおそれがある）
 - ・ ペースメーカーなどの体内植込み型医用電気機器
 - ・ 人工心肺などの生命維持用医用電気機器
 - ・ 心電計や点滴器などの装着型の医用電気機器
- 次のような人は使用しない。（事故や体調不良、けがの原因）
 - ・ 心臓疾患など、心臓に異常のある人
 - ・ 金属アレルギーなどのアレルギー性疾患がある人
 - ・ 顔面神経麻痺など、顔面の神経に障害のある人
 - ・ 出血性疾患、血友病疾患などの血液異常の人
 - ・ 歯を治療中の人
 - ・ 18歳未満の未成年、および自分で意思表示のできない人
 - ・ 交通事故などにより頭部に後遺症がある人
 - ・ 痛みや温度の感覚が自覚できない人
 - ・ スプーンや食器が正常に握れない人
 - ・ 妊娠中もしくは妊娠をしている可能性のある人
 - ・ 過去に類似する電気機器などで具合が悪くなったことのある人
 - ・ 自己免疫疾患のある人
- 次のような場合は使用しない。（身体トラブルの原因）
 - ・ 体調がすぐれない場合、疲労の激しい場合
 - ・ 極度に体力を消耗した場合（大きな手術の術後、長期入院の退院後、産後など）
 - ・ 飲酒や薬の服用などにより、正常な判断ができない状態である場合
 - ・ 手や口内、口周辺に傷や湿しん、はれものなどの異常がある場合
- 人以外には使用しない。（事故やけがの原因）



- 次のような人は、医師に相談のうえ、使用する。
（事故や体調不良の原因）
 - ・ 今までに重い病気をした人
 - ・ 急性疾患の人
 - ・ 有熱性疾患の人
 - ・ 感染症疾患の人
 - ・ 悪性腫瘍（しゅよう）のある人
 - ・ 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
 - ・ 通院して薬を服用中の人
- 痛みや異常を感じたら、すぐに使用を中止する。
痛みや異常が使用を中止しても継続するようなら、すぐに医師に相談する。
（事故や身体トラブルの原因）
- 強い刺激や違和感を感じる場合、使用を中止する。
（事故や身体トラブルの原因）